

第8回熊本県腎不全看護研究会

アンケート集計結果

176名中 131名アンケート回収

日時 2011年2月20日(日)9:45～

場所 済生会熊本病院 外来がん治療センター

4F コンベンションホール

【情報提供】9:45～

【一般講演】 10:00～10:40

『終末期透析医療に対する看護師の意識およびかわりに関する調査報告』

公立玉名中央病院 透析室

熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科 西川奈保子先生

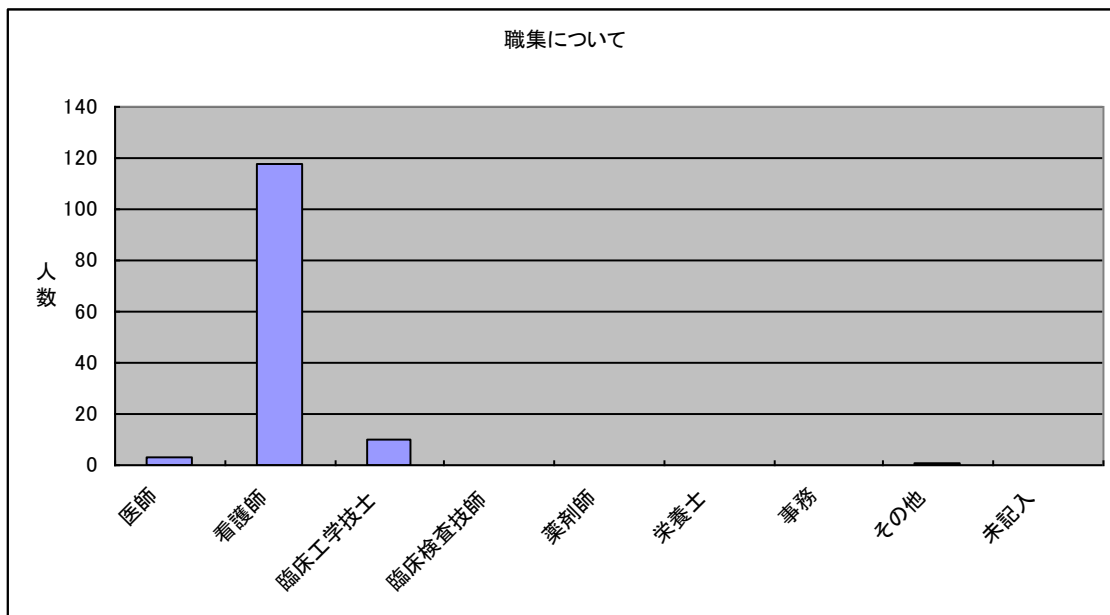
【特別講演】 10:40～12:00

『高齢者透析を、どう考えどう対処するか
～導入・継続・中止の可否～（終末期医療・ケアの考察）』

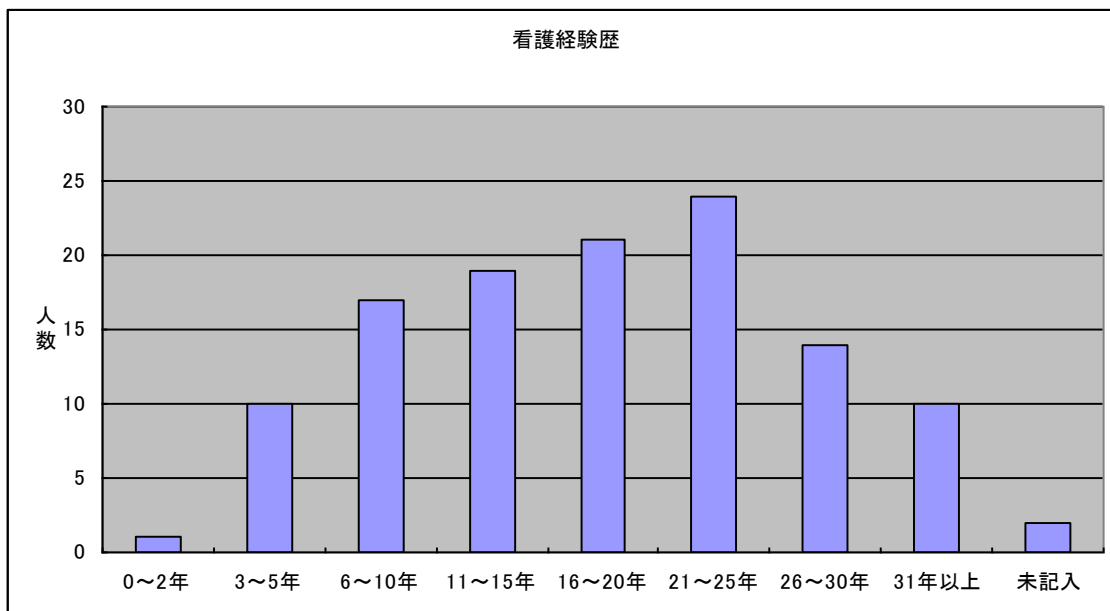
札幌北クリニック 院長 大平整爾先生

研究会アンケート結果

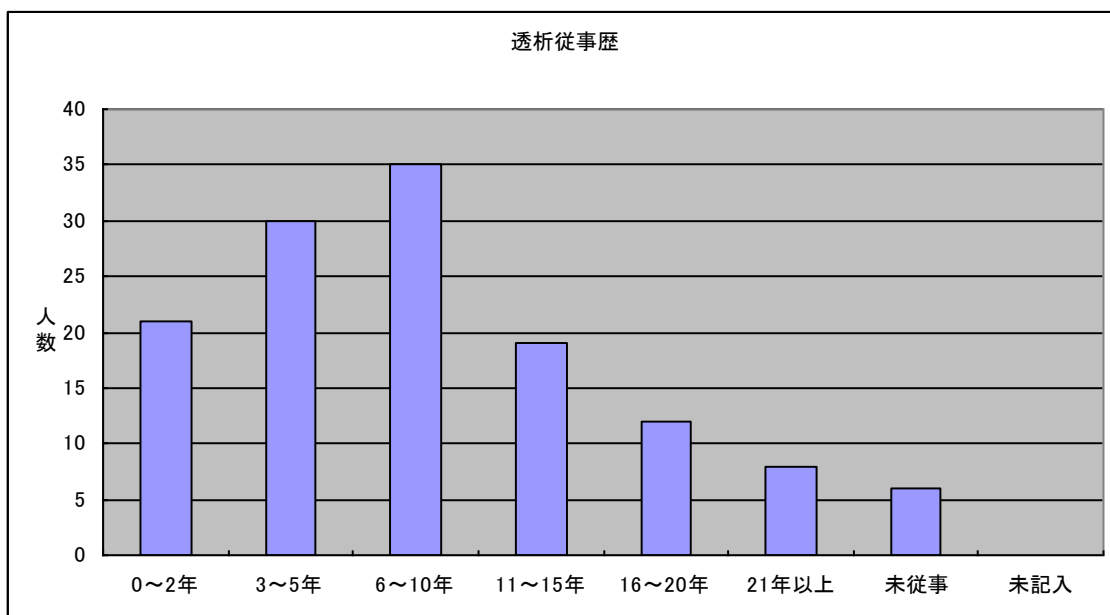
Q1：職種について



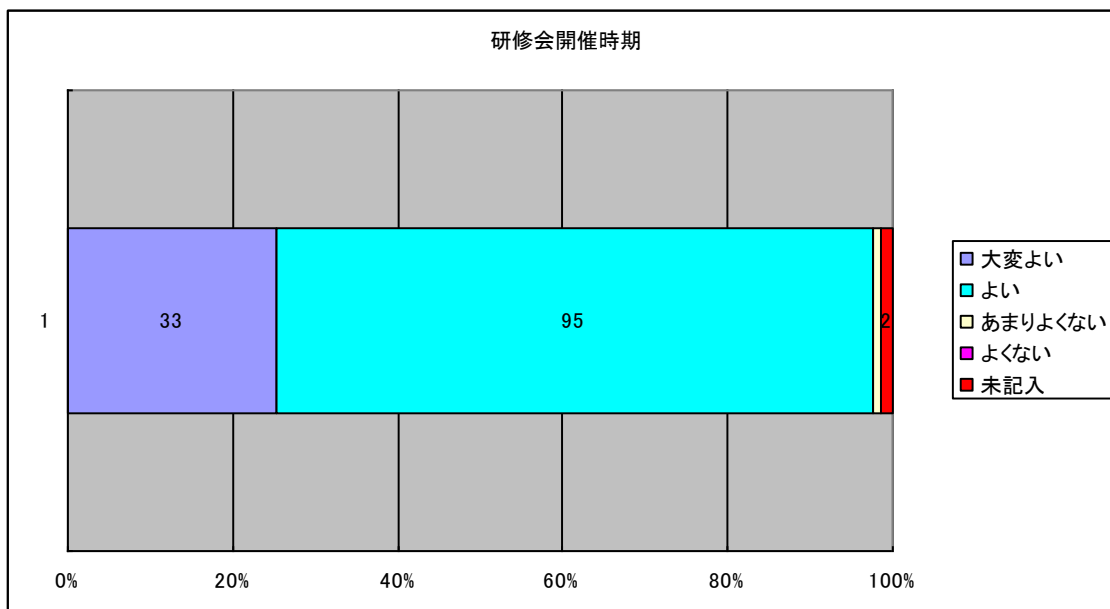
Q1-※：看護経験歴



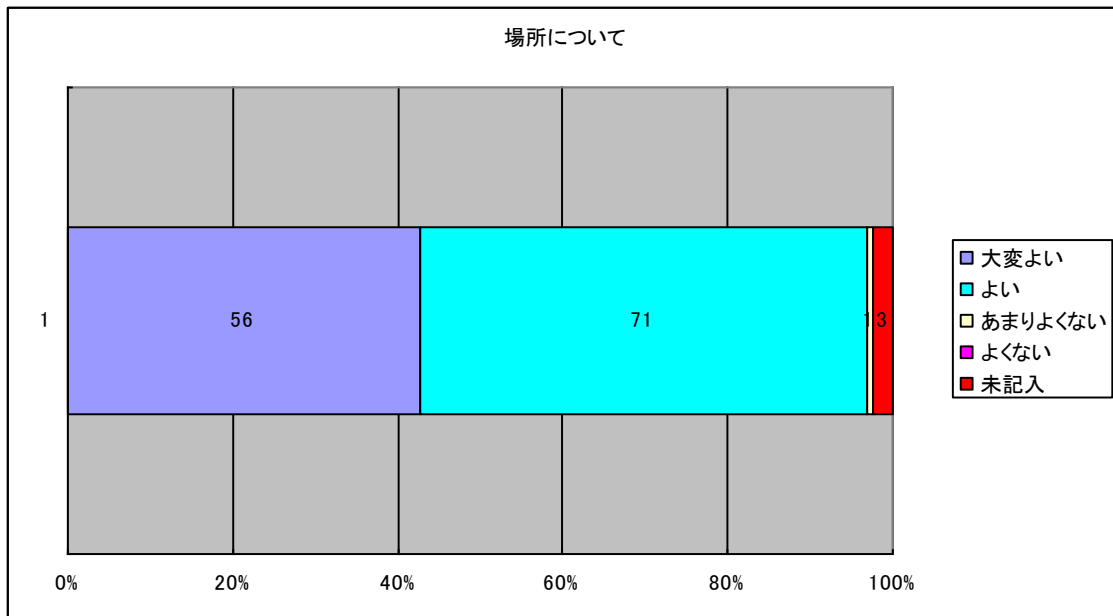
Q2：透析従事歴



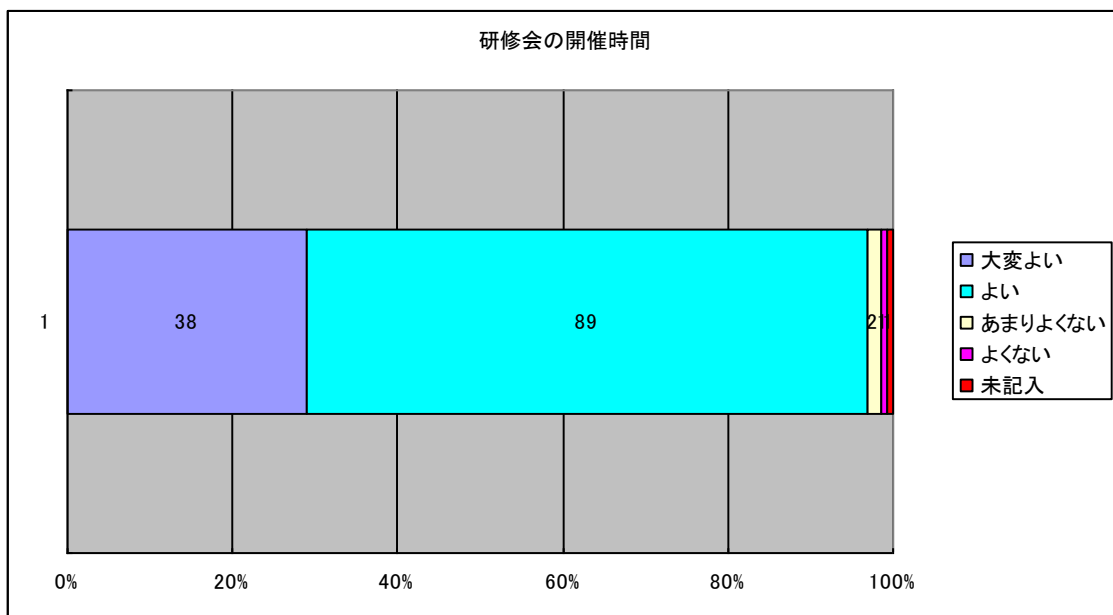
Q3-1：研修会の開催時期



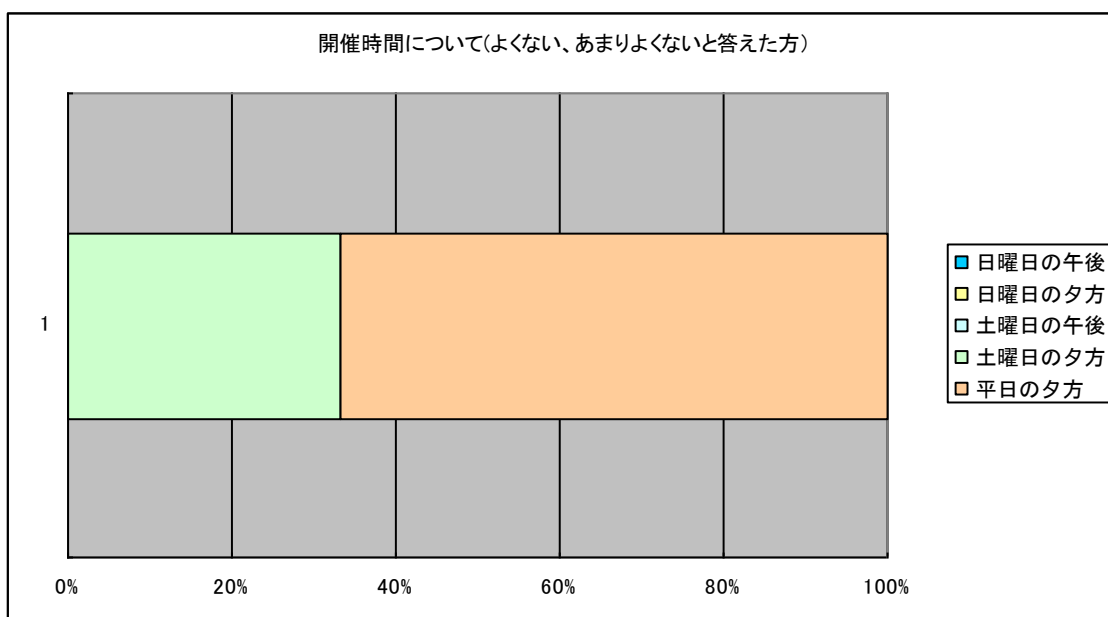
Q3-2 : 場所について



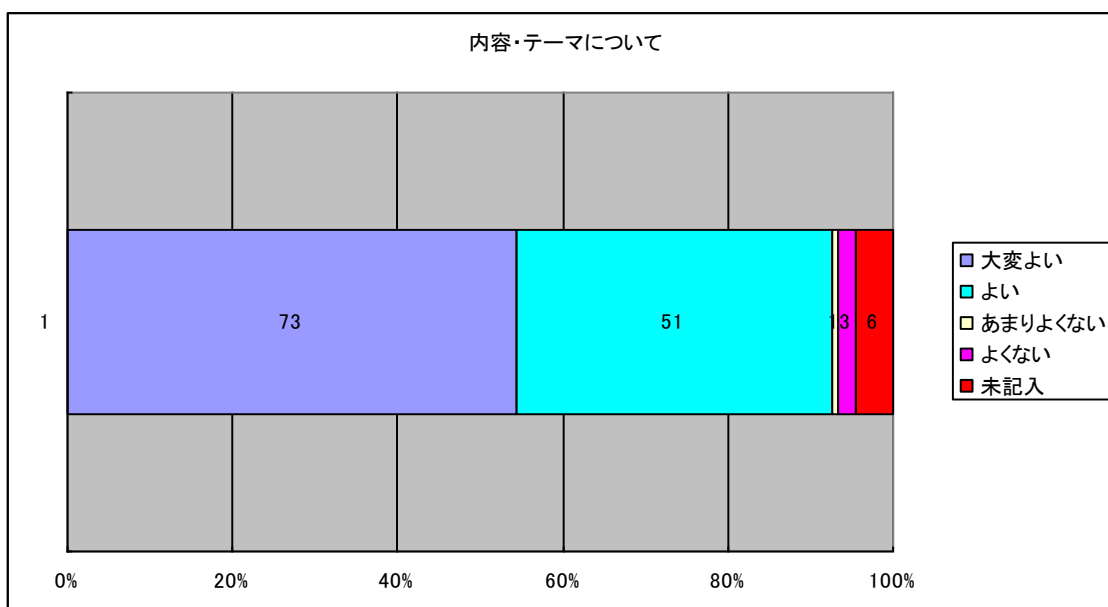
Q3-3 : 開催時間について



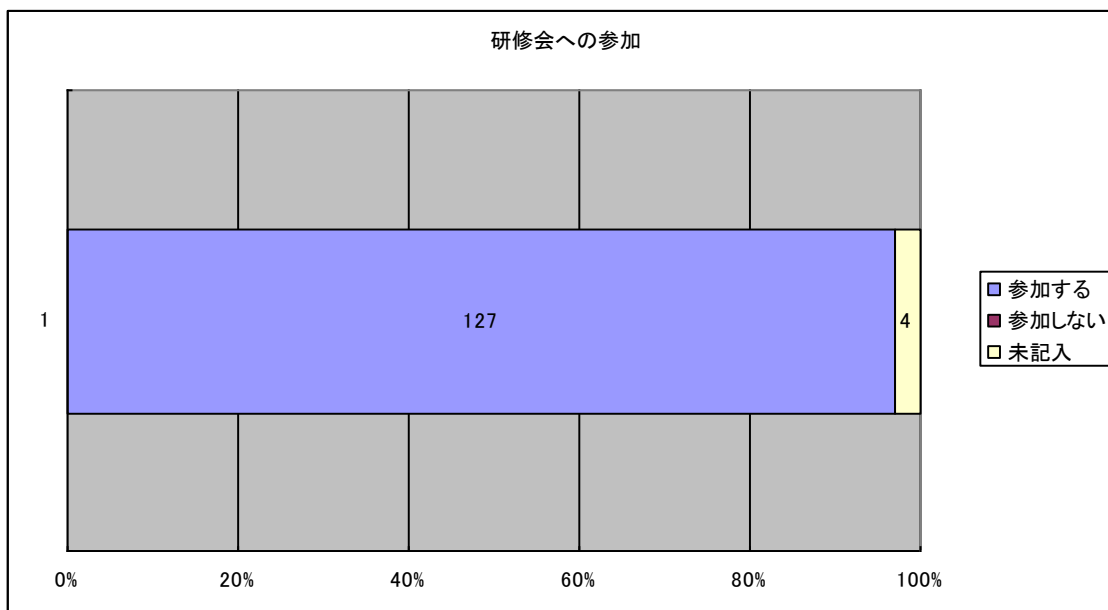
Q3-3 : 開催時間について(よくない、あまりよくない)



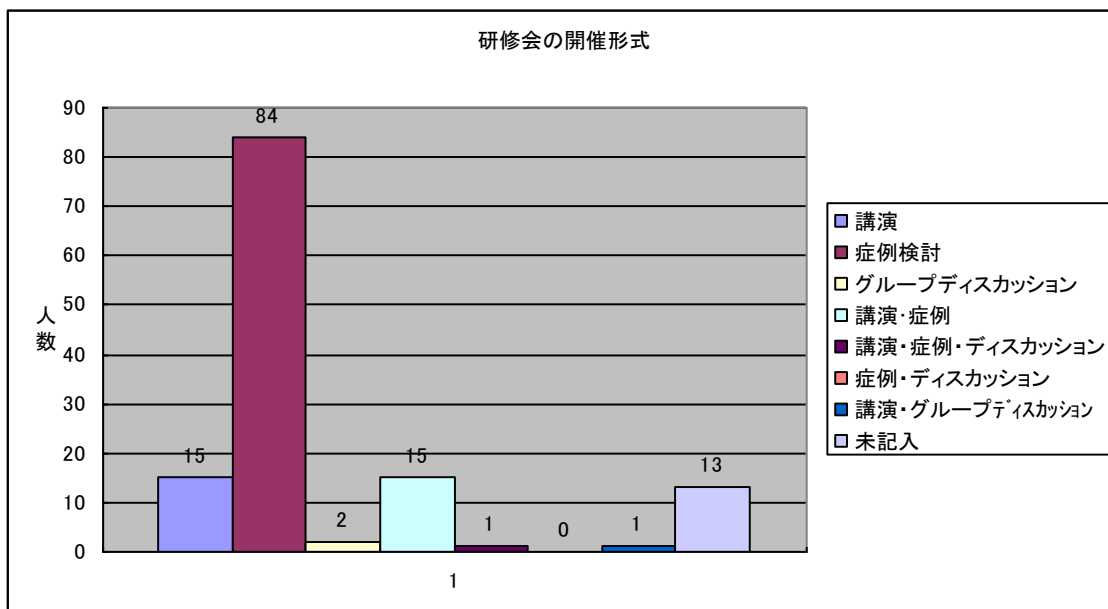
Q3-4 : 内容・テーマについて



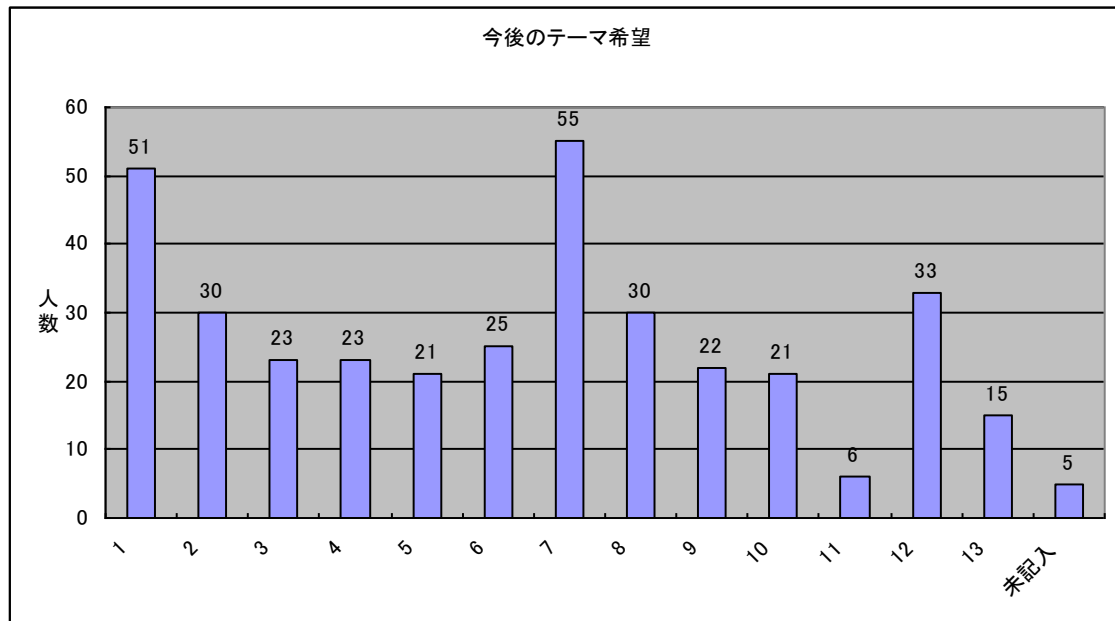
Q4：今後もご参加いただけますか？



Q5：開催するとすれば、どのような方法を望まれますか？



Q6: 今後取り上げてほしいテーマがあれば御記入ください。



- ①患者教育、患者指導（自己管理）
- ②糖尿病、糖尿病性腎症
- ③栄養指導、食事指導（実際の指導について）、食事管理
- ④記録、看護記録
- ⑤災害時訓練（Nsの対応）、災害対策
- ⑥感染、透析室の感染予防
- ⑦認知症対応、認知症患者とのかかわり方
- ⑧透析中のリスク→症例、対策など
- ⑨医療安全、リスマネジメント、医療事故（トラブル、記録）
- ⑩長期留置カテーテルについて
- ⑪腹膜透析、看護について
- ⑫スタッフと患者のコミュニケーションの取り方
- ⑬コーチング
- ⑭未記入

Q7：上記以外で取り上げてほしいテーマ等あれば記入ください。

- ・ フットケア
- ・ スタッフ教育
- ・ 腎移植について
- ・ 透析患者のスキンケア
- ・ アロマセラピー
- ・ CHDF、On-lineHDF
- ・ 透析室における学生指導
- ・ 医師、スタッフの指導を拒否され、自己管理もできない方への対応法
- ・ 特別対応を求める患者との関りかた
- ・ 移植（脳死の法改定により移植を受ける人が増えてきている）どうとりつないでいくか、具体的なかかわり
- ・ がん患者のHD，CAPD
- ・ 患者QOL向上のための在宅透析が増えています。その情報や熊本県内で実施されている施設があれば教えてほしい
- ・ スタッフ同士のコミュニケーションや看護のスキルを上げるテーマもほしい
- ・ コンコーダンス

Q8：その他、意見、要望、改善点等ありましたらお聞かせください。

- ・ “生の医学”があるように、“死の医学”があってもいいと 생각합니다。本日は看護研究会へ参加させていただきありがとうございます。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 大平先生の講義よかった。
- ・ 大平先生は、もっとHD中止、導入中止の具体的な話をもっと聞かせてほしかったと思います。残念です。
- ・ 託児ルーム希望。
- ・ 終了時間には終わってほしい。
- ・ 休憩なしで早く閉会できてよかった。
- ・ 勤務先でも高齢の患者さんが増えてきており、透析治療が本当に必要なのか？と考える機会が多くなりました。今回の講義にもあった事前指示書の導入なども考えていくいい機会になりました。ぜひ参考にさせていただきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

質疑応答

Q：患者に最期を聞くタイミングは？

A：聴く時期、タイミングは難しい・・・

患者さんがきつい状況だったり、こんなはずじゃなかった、仲間がいなくなった時と思うがなかなか触れずらい

でも終末期に聞くのはさらに難しいので病院で決め事を決めて元気なうちに聞く

家族、本人とも話あう

期限を決めて必ず提出してもらうのではなく、捨てるなら捨てるでも出さないなら出さないと患者のまかせる

透析導入期や **CKD** のときから患者に聞くようにしなと大事な話はできない

Q：主治医が2人いるときは？

A：透析以外の主治医がいるときはどちらが説明をするのか **Dr** で決めてもらう

Q：透析5～6年目の元気な患者さんで自分が動けなくなったときは透析はしたくないと・・・どのような対応をしたらよいか？

A：個人的意見で意思表示しているので話を続けれる会話をして話を聞いてみる
できれば患者と長く会話が続く、合うスタッフを選択する

主任が一番多い！もっとも身近で実践、経験年齢でももうしぶんない

患者の日ごろのなにげない会話でもうまくつなげていければそれがよい